

報道各位

新潟市歴史文化課

信濃川火焰街道連携協議会主催・京都大学総合博物館 平成29年度特別展
「火焰型土器と西の縄文-Flame Pots -Jomonese Japan2017-」の開催について

新潟市も加盟している信濃川火焰街道連携協議会は、「火焰型(かえんがた)土器(どき)」に代表される「縄文」をキーワードに、信濃川流域の自治体が交流・連携をはかり、地域振興や広域観光などを推進する協議会で、現在、新潟市・三条市・長岡市・十日町市・魚沼市・津南町の6市町が加盟しています。

このたび、京都大学総合博物館・新潟県歴史博物館と共同で、加盟市町から出土した火焰型土器などの特別展を開催します。下記のとおり東日本の火焰型土器と京都大学が収蔵する西日本の縄文土器が一堂に会する貴重な機会となっており、多くの方にご覧いただきたいので、広報にご協力願います。

記

- 1 とき 平成29年9月9日(土)から同10月22日(日)まで
- 2 ところ 京都大学総合博物館
(京都市左京区吉田本町 電話075-753-3272)
- 3 内容
(1) 信濃川火焰街道連携協議会加盟市町出土土器等の展示
(国宝、重要文化財を含む)
京都大学所蔵の西日本を中心とした縄文土器等の展示
(2) 国際縄文フォーラム火焰街道往還2017(オープニング・セレモニーとして)
特別対談・トーク&コンサート・研究講演会など
開催日 平成29年9月9日(土)・同9月10日(日)

※詳しくは別添チラシをごらんください。

【連絡・問い合わせ先】

○信濃川火焰街道連携協議会事務局
担当:津南町教育委員会文化財班 佐藤・石沢
電話:025-765-5511
(農と縄文の体験実習館なじよもん)

○新潟市歴史文化課
担当:廣野
電話:025-226-2572

National Treasure
国宝公開

京都大学総合博物館 平成29年度特別展

火焰型土器と 西の縄文

Flame Pots - Jomon-esque Japan 2017-



京都大学総合博物館
〒606-8501 京都市左京区吉田本町
TEL (075) 753-1327
<http://www.museum.kyoto-u.ac.jp/>



企画：「火焰型土器と西の縄文 Jomon-esque Japan 2017」実行委員会
主催：京都大学総合博物館・信濃川火焰街道連携協議会・新潟県立歴史博物館
共催：京都大学大学院文学研究科・京都大学文化財総合研究センター
後援：京都府教育委員会・京都市教育委員会・NPO法人ショーモネスクジャパン

2017年
9月9日[土]—10月22日[日]
9時30分—16時30分(入館は16時まで)
休館日 月曜日・火曜日(平日・祝日にかかわらず)
観覧料 一般 400円 高校生・大学生 300円 小学生・中学生 200円
※20名以上は団体料金を適用 ※障害者手帳をお持ちの方とその付き添いの方1人・70歳以上の方、
京都大学学生および教職員、京都府下の大学在籍の学生は無料(要証明証)



信濃川火焰街道

信濃川火焰街道連携協議会
新潟市 三条市 長岡市 十日町市 魚沼市 津南町



新潟県立歴史博物館
The Niigata Prefectural Museum of History



Jomon-esque
Japan



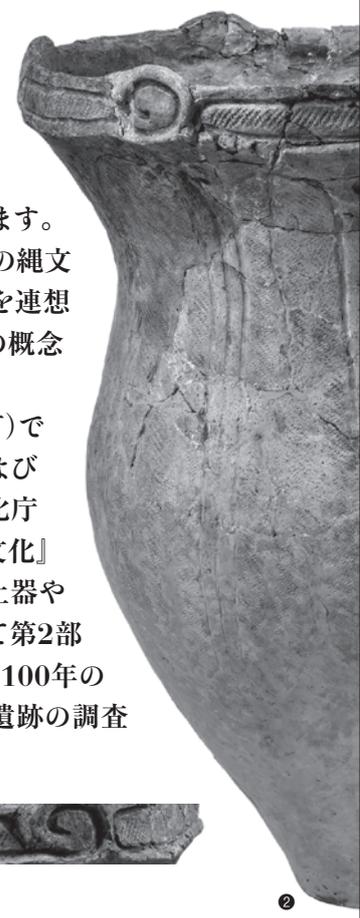
JAPAN HERITAGE
日本遺産

火焰型土器と西の縄文

Flame Pots -Jomon-esque Japan 2017-

縄文時代1万余年の中で日本列島には、さまざまな縄文土器があります。火焰型土器は、現在の新潟県に相当する地域で出土する、約5000年前の縄文土器です。火焰型土器とは、大きな突起と立体的文様とが燃えさかる炎を連想させることに由来するニックネームです。火焰型土器のデザインは、容器の概念を逸脱しているように見え、多くの人びとに注目されています。

新潟県の6市町(新潟市、三条市、長岡市、十日町市、魚沼市、津南町)で組織する信濃川火焰街道連携協議会は、火焰型土器を活用した地域振興および広域観光を推進しています。同協議会は、火焰型土器などを構成文化財として、文化庁の日本遺産に平成28年に申請し、『「なんだ、コレは!」信濃川流域の火焰型土器と雪国の文化』の名称で、その認定を受けました。本特別展は、日本遺産認定を記念し、第1部で火焰型土器や同時代の土偶や石棒などの出土品を通して、その実態と魅力を多面的に紹介します。そして第2部では、京都大学の資料によって、火焰型土器と同時期の全国各地の土器を概観するとともに、100年の歴史をもつ考古学研究室が調査した西日本の縄文遺跡の出土品、大学構内や周辺の縄文遺跡の調査研究成果を紹介しながら、西の縄文の視点から火焰型土器について考えます。



Opening Ceremony オープニング・セレモニー

9.9
土

《特別対談／トーク&コンサート》

特別対談「火焰型土器を語る」 13:00~14:30(受付開始12:30)

小林達雄(國學院大学名誉教授) × 泉 拓良(京都大学総合生存学館特定教授)

会場: 京都大学百周年時計台記念館2階 国際交流ホール

定員: 200名(事前申込不要 先着順)

トーク&コンサート 15:00~16:30

【ミュージアム・トーク】15:00~ 佐藤雅一(新潟県津南町教育委員会)

【縄文コンサート】15:30~ 斎藤孝太郎(エレキチェロ演奏者)

会場: 京都大学総合博物館(入場には博物館入館料が必要です)

ミュージアム・トークは2階企画展示室にて、コンサートは1階で行います。

9.10
日

《研究講演会「火焰型土器と西の縄文」》

11:00~ 寺崎裕助(新潟県考古学会会長)

【講演】13:00~ 泉 拓良(京都大学総合生存学館特定教授)

14:00~ 建石 徹(文化庁美術学芸課)

会場: 京都大学総合博物館 3F講演室

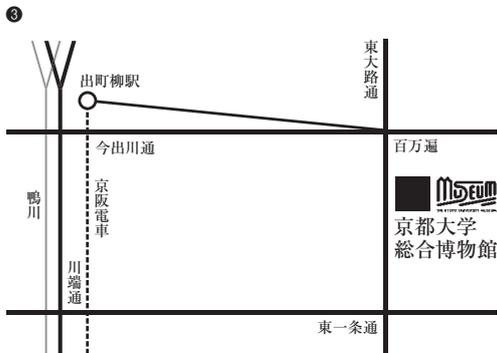
(入場には博物館入館料が必要です)

定員: 50名(事前申込不要 当日博物館受付にて整理券配布)

※9:45~10:30にはミュージアム・トークを2階企画展示室にて行います。

このほか、縄文土器ワークショップやミュージアム・トークを予定しています。イベントの詳細は、博物館ホームページにてご案内します。

<http://www.museum.kyoto-u.ac.jp/>



京都大学総合博物館

【交通機関】

●市バス JR/近鉄京都駅から17・206系統、阪急河原町駅から3・17・31・201系統、地下鉄丸線今出川駅から201・203系統、地下鉄東西線東山駅から31・201・206系統、「百万遍(ひゃくまんべん)」下車徒歩約2分

●京阪「出町柳(でまちやなぎ)」駅下車徒歩約15分

※駐車場がありませんので、公共交通機関をご利用ください。

写真【表面】上段右から:《重要文化財》深鉢形土器(馬高遺跡)長岡市馬高縄文館/深鉢形土器(正安寺遺跡)魚沼市教育委員会(=裏面①)/深鉢形土器(長野遺跡)三条市/深鉢形土器(秋葉遺跡)新潟市文化財センター/上段左から:《重要文化財》深鉢形土器(堂平遺跡)津南町歴史民俗資料館(文化庁所有)/《国宝》深鉢形土器(笹山遺跡)十日町市博物館(以上、すべて新潟県内出土品)/深鉢形土器(大津市滋賀里遺跡)京都大学考古学研究室保管(=裏面②)【裏面】③《重要文化財》土偶(馬高遺跡)長岡市馬高縄文館/④深鉢形土器(倉敷市船元貝塚)京都大学総合博物館